

### 3.2 品目機種別の適合対象範囲と定義等

表 3.2～表 3.7 に、品目機種別に適合機器の対象範囲と定義等を示す。

表 3.2 家電製品の対象範囲と定義等

機種	対象範囲／定義	備考
家庭用冷蔵庫／冷凍庫	すべての容量，形式の家庭用冷蔵庫，冷凍冷蔵庫及び冷凍庫。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭で使用する家電製品のうち，冷蔵庫が最もエネルギーを消費する。</li> <li>・10年前の製品を新しいエネルギースター適合製品に買い換えると，毎年，一般家庭3か月分の照明代に相当するエネルギーと300ポンド分の地球温暖化ガスを低減できる。</li> </ul>
洗濯機	標準容量が1.6ft <sup>3</sup> 以上の洗濯機。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年前の製品と比較して，電気代を最大で年間約120ドル節約できる。</li> <li>・標準的製品と比較して，エネルギー消費量は50%，水の消費量は30～50%少ない。</li> </ul>
食器洗浄機	外形寸法幅が22インチ以上の食器洗浄機。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年前の製品と比較して，エネルギー使用料を年間約30ドル節約できる。</li> <li>・連邦基準の製品よりもエネルギー消費量が25%少ない。</li> <li>・標準製品と比較して温水使用量が少ないため，製品の寿命が切れるまでに約100ドル節約できる。</li> </ul>
ルームエアコンディショナ	リバースサイクルなし（冷房専用機で，暖房機能が無いもの），かつ，側面ルーバー付き（自動風向切替え機能を持つもの）のルームエアコン。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年前の製品と比較して，電気代を最大で年間約20ドル節約できる。</li> <li>・標準的製品と比較して，エネルギー消費量が10%以上少ない。</li> </ul>

機種	対象範囲／定義	備考
業務用冷蔵庫／冷凍庫	業務用のキャビネット型冷蔵庫あるいは冷凍庫（コンビニエンスストア，レストラン等に設置されている，消費者が取り出せる形で飲料製品や食料品を収納している箱型の冷蔵庫あるいは冷凍庫）であり，以下を含む。 リーチインキャビネット*1，アンダーカウンターキャビネット*2，ロールインあるいはロールスルーキャビネット*3，パススルーキャビネット*4型冷蔵庫あるいは冷凍庫。	・電気代を，冷蔵庫 1 台当たりで年間約 140 ドル，冷凍庫 1 台当たりで年間約 100 ドル節約できる。
除湿機	・標準容量除湿器：除湿容量が 35 リットルまでのもの。 ・大容量除湿器：除湿容量が 35～57 リットルまでのもの。	・製品の寿命が切れるまでに，約 200 ドル節約できる。 ・標準的製品と比較して，エネルギー消費量が 10～20%少ない。

\*1 リーチインキャビネット：アンダーカウンタ，ロールイン，ロールスルー，パススルーキャビネット以外の商用アップライト型（前開き型）キャビネット。

\*2 アンダーカウンターキャビネット：商用アップライト型（前開き型）キャビネットのうち，引出し型の収納箱を持つもの。

\*3 ロールイン，ロールスルーキャビネット：商用アップライト型キャビネットのうち，車輪付きの棚を出し入れできるようにしたもの。

\*4 パススルーキャビネット：商用アップライト型（前開き型）キャビネットのうち，前後に扉を取り付けたもの。

表 3.3 冷暖房機器の対象範囲と定義等

機種		対象範囲／定義	備考
温度制御式サーモスタット		1日のうちに1回以上、温度設定を動作させるための装置で、平日用及び週末用等2つ以上の異なる期間を対象とした温度制御、及び起床時、日中、夕方、就寝時の少なくとも4つの異なる時間帯において異なる温度制御ができるもの。 日中及び夜間における温度設定は、少なくとも8時間は維持できるようにあらかじめ設定されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気代を年間約100ドル節約できる。</li> <li>自動的に室内温度を設定できる。</li> </ul>
住宅用空気熱源ヒートポンプ／セントラルエアコンディショナ	住宅用空気熱源ヒートポンプ	暖房機能付きのものを含めて、室内器のコイル、圧縮器及び室外器のコイルを含む、複数の工場の部品機器より構成される。この場合の住居用ヒートポンプは、暖房機能を行うだけでなく、冷房機能、送風機能、空気清浄機能及び除湿・加湿機能を行うものを含む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気代を年間約130ドル節約できる。</li> <li>標準的製品と比較して、エネルギー消費効率が20%以上高い。</li> </ul>
	セントラルエアコンディショナ	蒸発器、冷却コイル、圧縮機及び凝縮器を含む、複数の機器から構成されるもの。ここでいうセントラルエアコンディショナは、暖房機能を行うだけでなく、冷房機能、送風機能、空気清浄機能及び除湿・加湿機能を行うものを含む。	
	室内器・室外器分割型	室内器（蒸発器）と室外器（凝縮器）が分割されている、住宅用空気熱源ヒートポンプまたはセントラルエアコンディショナ。	
	一体型	1つの機器の中で凝縮と空気処理の両方を兼ね備えた、住宅用空気熱源ヒートポンプまたはセントラルエアコンディショナ。	
	暖房機能（ガス）と冷房機能（電気）を持つ一体型ユニット	壁面や屋根に設置されることの多い暖房機能（ガス）と及び冷房機能（電気）を兼ね備えた機器。空気は中央部で処理され、1つあるいは多数の換気扇とダクトにより家庭内の部屋に運ばれる。	

\* 住宅用空気熱源ヒートポンプとセントラルエアコンディショナには、それぞれ室内器・室外器分割型と一体型の2つのタイプがある。  
基準値の分類では、「室内器・室外器分割型」、「一体型」、「暖房機能（ガス）と冷房機能（電気）を持つ一体型ユニット」の3つに分類される。

機種		対象範囲／定義	備考
ボイラ	家庭用ボイラ	1 時間当たり 30 万 Btu*1 以下のエネルギーを投入して燃料を燃焼させ、暖房用機器に必要な低圧蒸気あるいは温水を供給する装置。この定義を満たしかつ家庭用あるいは別の目的のために温水を供給する暖房用ユニットも含む。	<p>次のような改良された機能を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常に点火用補助バーナーを用いるの必要をなくしている電気を用いた点火方式。</li> <li>・同じ量の燃料からより多くの熱量を取り出す新しい燃焼技術。</li> <li>・安全性の向上とともに、隙間を小さくした燃焼器に燃料を供給するために外気を用いた密閉型燃焼。</li> </ul>
	複合冷暖房空調機・温水暖房機	冷暖房空調機(ボイラ)及び温水暖房機に熱源や装置を供給する機器。	
地熱源ヒートポンプ	地熱源ヒートポンプ	室内器のコイル、圧縮機、熱交換用の冷媒を含む複数の工場の部品機器より構成され、過熱低減器、温水器または別に設置された圧縮機による温水供給機能を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的製品と比較して、エネルギー消費量が 40~60%少ない。</li> <li>・地上の自然熱の使用が非常に効率的であるため、利用可能な暖房・冷房技術の中で効率的で快適な機器である。</li> <li>・標準的システムより静かである。</li> </ul>
	閉ループ方式	住居の暖房及び冷房のための熱源として地面または地下水の熱エネルギーを使うものであり、地中熱交換器の熱媒体が交換器の内部に含まれるもの。	
	開ループ方式	使用される熱媒体が外部と往来するもの。	
	直接拡大方式	冷媒熱交換器の熱媒体として循環水や不凍液ではなく、地熱源ヒートポンプシステムの冷媒を利用し、媒体が地面の中に埋められた配管の中を循環するもの。	
天井扇	家庭用に設計されたもので、天井から吊るした羽の回転で空気を循環することを目的とした機器。天井扇にはセット販売されている照明部品と、後付けの照明部品がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的製品と比較して、エネルギー消費効率が約 10%高い。これにより、電気代を年間 13~24 ドル節約できる。</li> <li>・照明は小型のものであり、エネルギー消費効率が良く、電球は長持ちするため頻繁に換える必要がない。</li> </ul>	
ファーンレス	化石燃料を燃焼させる燃焼室を有する機器であり、バーナー、熱交換器、ブロワー、ダクト等が含まれる。温水等を供給する家庭用熱機器も対象となる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的製品と比較して、エネルギー消費効率が約 15%高い。</li> <li>・米国で最も一般的に使用されている住宅用暖房システムである。</li> </ul>	

機種	対象範囲／定義	備考	
小型業務用冷 暖房機	セントラルエ アコンディシ ョナ	蒸発器，冷却コイル，圧縮機，凝縮器を含む機器。空冷の機能の他に換気，空気清浄，除湿，あるいは加湿の機能を持つものも含む。	
	ヒート ポンプ		一般的に暖房の機能を持つ室内調整コイル，圧縮器，室外コイルを含む機器。温度制御を伴った暖房機能があるものとし，他にも空冷，換気，空気清浄，除湿，加湿の機能を持つものも含む。
	暖房機能（ガ ス）と冷房機 能（電気）を 持つ一体型ユ ニット		壁面や屋根に設置される，暖房機能（ガス）と冷房機能（電気）を備えた機器。
換気扇	浴室・部屋の天井や壁・キッチンのレンジカバーに，屋内から戸外へ不快な空気を出すことを目的とするファン。ただし，冷却・空気循環・ラドンガス換気*2・熱／エネルギー回収換気を目的とした家庭用ファン，通気孔のファン，屋根裏換気装置を除く。	・標準的製品と比較して，エネルギー消費量が約 65%少ない。	

\*1 Btu : British Thermal Unit (英国の熱量単位であり，1ポンドの水の温度を華氏1度上昇させるために必要な熱量)

\*2 ラドンガスは放射性物質の一つであり，土壌や建材に含まれている。特に，米国では，ラドンガスは人体に悪影響を及ぼす有害物質として認知されており，ラドンガスによる健康影響の問題が幅広く議論されている。

表 3.4 消費者電子機器の対象範囲と定義等

機種	対象範囲／定義	備考
テレビ	<p>モニタ、チューナ及び受信機からなる電気製品。そのモニタは通常、ブラウン管、液晶、プラズマディスプレイ、または他のディスプレイデバイスにより構成される。また、アンテナ、衛星、ケーブルを利用したテレビ放送の映像信号を受信して表示する機能を備える。</p> <p>また、コンピュータへの拡張性（コンピュータ入力ポートを搭載する等）を備えていても、テレビを主な機能として販売される製品であれば対象となる可能性があるが、コンピュータのディスプレイとして、または両方の機能を備えたテレビとして販売されるものを含まない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国の家庭用テレビのうち、半数がエネルギースター適合のテレビに替わると、その省エネルギー効果は発電所1基の発電量に相当する。</li> <li>・標準的製品と比較して、エネルギー消費量が約25%少ない。</li> </ul>
テレビモニタ	外部チューナやビデオ等からの映像信号をブラウン管、液晶、プラズマディスプレイに表示するための電気製品。	
ビデオ	ビデオテープの再生及び録画を行うための電気製品。また、この定義においては、アナログビデオ、デジタルビデオの両方を含む。	
テレビ／ビデオ一体型ユニット	テレビとビデオが結合して1つのユニットになる電気製品。また、ビデオはテレビのケーシングに内蔵され、一本の電源ケーブルから電源供給される。	
テレビ／DVD一体型ユニット	テレビとDVDが結合して1つのユニットになる電気製品。また、DVDはテレビのケーシングに内蔵され、一本の電源ケーブルから電源供給される。	
ビデオ／DVD一体型ユニット	テレビとDVDが結合して1つのユニットになる電気製品。また、DVDとビデオは1つのケーシングに内蔵され、一本の電源ケーブルから電源供給される。	
テレビ／ビデオ／DVD一体型ユニット	テレビ、ビデオ及びDVDが結合して1つのユニットになる電気製品。また、DVDとビデオはテレビのケーシングに内蔵され、一本の電源ケーブルから電源供給される。	
コンポーネント／テレビ一体型ユニット	2つ以上の個別のコンポーネント（ディスプレイ、チューナ、電源等）からなるテレビシステムであり、1つのモデルとして、あるいはシステム指定の機器として販売されるもの。	
DVD	デジタル化されたビデオ信号を回転反射ディスクメディアに記録再生することを目的とした、1つのケーシングに収められた電気製品。	
家庭用オーディオ	ヘッドフォン、スピーカー、音声信号変換器等によって再生されるオーディオ領域の信号（映像信号は含まない）を記録再生することを目的とした、1つのケーシングに収められた電気製品。また、家庭用オーディオは次のものを含む。カセットデッキ、CDプレーヤー/チェンジャー、CDレコーダー、ラジオ付き時計、イコライザー、LDプレーヤー、ミニコンポ、ミドルコンポ、MDデッキ、スピーカー、ラックシステム、ステレオアンプ器、ステレオレシーバ、テーブルラジオ、及びチューナ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭用オーディオ及びDVDが消費するエネルギー量は、機器の使用時よりもオフ時の方が多い。</li> <li>・標準的製品と比較して、オフ時のエネルギー消費量は4分の1程度になる。</li> </ul>

機種		対象範囲／定義	備考
セットトップボックス		信号受信機能，送信機能，処理機能，記録機能，変換機能を有し，テレビあるいはディスプレイ装置に信号を送信する装置（テレビ/VCR 及び家庭用オーディオ/DVD 基準の下で対象とする製品はセットトップボックスとして扱わない）。	・標準的製品と比較して，消費電力は約 20%少ない。
電話	コードレス電話	音を送信するため電気信号に変換することが可能な，基礎ステーション及び送受信器を備えた電子製品。電力供給用コンセントを必要とし，AC パワーコンセントに 24 時間差し込まれ，それを切るための電源スイッチを持たない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国で販売されるコードレス電話，留守番電話，一体型ユニットのすべてをエネルギースター適合モデルに代替すると，今後 10 年間で 44 億ドルもの電気代の節約効果を得られる。</li> <li>*スペクトル拡散技術（SST：Spread Spectrum Technology）：携帯電話等に利用されている，通信の高速化を図る無線通信技術の一つ。</li> </ul>
	留守番電話	電話と電話ジャック間の電話線に接続することにより，電話メッセージを収録することが可能なアナログあるいはデジタル記憶装置。電力供給用コンセントを必要とし，AC パワーコンセントに 24 時間差し込まれ，それを切るための電源スイッチを持たない。	
	コードレス電話／留守番電話一体型ユニット	コードレス電話及び留守番電話を単一のユニットとして組み合わせたもの。	
	コードレス電話／留守番電話一体型ユニット（スペクトル拡散技術*（SST）付き製品）	コードレス電話／留守番電話一体型ユニットにスペクトル拡散技術*が付いたもの。送信範囲増強機能，拡張機能，セキュリティ機能を有するデジタル電話技術製品。同機能を付けると，他に比べ消費電力は増加する。	

表 3.5 オフィス機器の対象範囲と定義等

機種	対象範囲／定義	備考
コンピュータ	<p>主として業務用及び家庭用に販売されるコンピュータを対象とする。</p> <p>デスクトップ、タワーもしくはミニタワー、またはポータブルユニット                      (ハイエンドデスクトップコンピュータ、パーソナルコンピュータ、オールインワンシステム(コンピュータとディスプレイとが単一のユニットに組み合わされたシステム)、ワークステーション、ネットワークコンピュータデスクトップ、Xターミナルコントローラ及びコンピュータベースのPOS 端末装置(販売時点情報管理システム)を含む)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スリープモードにおいて、パワーマネジメント機能のないコンピュータよりも消費電力は70%少ない。</li> <li>・ある一定の休止時間後に自動的にスリープモードになり、消費電力は15W 以下になる。</li> <li>・長時間スリープモードになれば、設備の温度上昇を抑えて寿命が長くなる。</li> <li>・空調やメンテナンスの面で付加的な利点が考えられる。</li> <li>・適合製品をホームオフィスに導入すれば、製品の寿命が切れるまでに、そのホームオフィスに必要な照明の2年以上の電力を節約できる。</li> </ul>
ディスプレイ	<p>CRT, LCD (液晶ディスプレイ) 等のフラットパネルディスプレイ、またはその他のディスプレイ関連電子装置及びその付属電子機器。コンピュータとともに使用されるディスプレイを対象とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スリープモードにおいて、パワーマネジメント機能のないディスプレイよりも消費電力は90%少ない。</li> <li>・ある一定の休止時間後に自動的に低電力モード、ディープスリープモードになり、低電力で15W, ディープスリープモードで8W 以下の消費電力になる。</li> </ul>
複写機	<p>複写機能のみを有する商業用の複写画像機器。表示システム、画像システム、及び用紙送りモジュールを含む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複写機は休止状態の時間が長いため、オフィス機器の中で最も待機時消費電力量を多量に消費する機器である。</li> <li>・自動両面印刷機能を備えたエネルギースター適合の高速複写機は、紙のコストを1か月に約60ドル節約できる。紙を1枚作るために消費するエネルギーは紙に印刷するために消費するエネルギーの10倍以上になるため、紙の節約もエネルギーの節約となる。</li> <li>・低電力モード状態にすることは、エネルギーの節約になるだけでなく、複写機が熱を持つことを防ぎ、長持ちさせることができる。</li> </ul>



機種	対象範囲／定義	備考
ファクシミリ	情報の送受信を基本機能とし、主に情報の出力として使用される画像出力機器。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリンタの場合、標準的製品よりも消費電力は 60%以上少ない。また両面印刷機能を有した製品は、紙のコストを年間約 30 ドル節約できる。</li> <li>・ファクシミリの場合、製品の寿命が切れるまでに電気代を約 45 ドル節約できる。また、製品使用時のエネルギーコストを約 40%節約できる。</li> <li>・適合製品をビジネスに取り入れることにより、空調やメンテナンスの面で付加的な利点が考えられる。</li> <li>・適合製品をホームオフィスに導入すれば、製品の寿命が切れるまでにそのホームオフィスに必要な照明の 2 年分の電力を節約できる。</li> </ul>
プリンタ	コンピュータから情報を受信する能力を持ち、情報の出力装置として使用される画像出力機器。	
プリンタ／ファクシミリ兼用機	プリンタとファクシミリの両方の機能を備えた画像出力機器。	
郵便機械	郵便物に郵便料金を印刷するために使用する画像出力機器。	
複合機	複写機、プリンタ又はファクシミリ等の機能を備えた多機能画像出力機器。追加機器の取り付けにより印刷、ファクシミリ等の多くの機能を有し、グレードアップさせるオプションを与える複写画像機器(拡張機能付きデジタル複写機)を含む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適合製品を用いることにより、製品の寿命が切れるまでに電気代を約 260 ドル節約できる。</li> <li>・複合機の複写、スキャナ、ファクシミリの各機能がすべてエネルギースターに適合している。出力を低下させることにより、使用時のエネルギーコストを約 40%節約できる。</li> <li>・両面印刷機能を有し、複写及び紙のコストの節約が可能となる。</li> </ul>
スキャナ	カラーまたは白黒の情報を、主にコンピュータの環境において保存、編集、転換、または送信可能な電子画像に転換する電気光学装置。主に汎用デスクトップスキャナ（平台型給紙機及びフィルムスキャナ）を対象とするが、基準を満たすハイエンドオフィス文書管理用スキャナを含む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的スキャナと比較して、消費電力を 50%以上節約できる。</li> <li>・ある一定の休止時間後に自動的に低電力モードになる。これにより、オフィス等での利用では、スキャナ 1 台当たり年間約 20 ドル節約できる。</li> </ul>

表 3.6 照明器具の対象範囲と定義等

機種	対象範囲／定義	備考
蛍光灯	ランプの起動及び照明を安定させるために必要な機能を組み込んだ、蛍光灯ユニット。ユニットの交換時には蛍光灯すべてを交換する必要があり、入替あるいは交換可能な部品を持たない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国の一般家庭で電球 1 個をエネルギースター適合の小型蛍光灯に替えると、1 万台の車に相当する地球温暖化ガス削減効果がある。</li> <li>・小型蛍光灯は高品質の照明、洗練された技術とデザインを提供し、標準的白熱灯より長持ちする。</li> <li>・エネルギースター適合の小型蛍光灯のエネルギー消費量は標準的白熱灯の 66%以下であり、最大で 10 倍長持ちする。</li> <li>・100W の白熱灯を 32W の小型蛍光灯に替えることにより、製品の寿命が切れるまでにエネルギーコストを 30 ドル以上節約できる。</li> <li>・標準的ハロゲンランプの発熱温度は 1,000°F に達するが、エネルギースター適合の小型蛍光灯は発熱温度が 100°F (37.8°C) 以下であるため、ハロゲンランプよりも安全である。</li> </ul>
非常口標識	非常口に固定され、ビルの出口等を識別する内部照明による標識。非常口標識の背景は光を透過しないものとし、光源は内部から標識や文字を照らす。動力源は、通常電源が確保できない場合には、非常電源より照らすように設計され、このどちらか片方の電源と繋がっている。非常用電源は一般的に非常用発電機か各標識内の充電式電池を用いる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての米国企業がエネルギースター適合モデルに替えると、電気代を 7,500 万ドル節約できる。</li> <li>・標準的非常口標識の 1 台当たりの消費電力は 40W であるが、適合製品の 1 台当たりの消費電力は 5W 以下である。</li> <li>・ビル全体にエネルギースター適合機器を導入すると、エネルギーコストと維持費を数百～数千ドル節約できる。</li> <li>・1 つの非常口標識だけで電気代を年間 15～20 ドル節約できる。</li> </ul>
交通信号機	電力により作動し点灯するもののうち、障害物警告灯や常に照らし続ける照明機器以外の交通管制装置。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的製品と比較してエネルギー消費が 80～90%少ない。また、信頼性があり、長持ちし、維持の手間が少ない。</li> <li>・適合製品には、エネルギー効率の高い発光ダイオード技術が用いられ、次の特徴がある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー消費量が標準的モデルの 80～90%。</li> <li>・誤作動を起こす頻度が極めて小さい。</li> <li>・標準的モデルの寿命が 2 年であることに比べて、最大で 10 年間長持ちさせることができる。</li> </ul> </li> </ul>

\*華氏温度 (°F) : 華氏温度=1.8×摂氏温度 (°C) +32

機種		対象範囲／定義	備考
住宅用照明器具	室内用	ランプ単体もしくは複数のランプ，安定器からなり，ランプ保護，位置決め，光の分散等ができるように設計され，ランプと電源の接続を行うことができる照明ユニット。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用頻度の高い地域では，天井に取り付けられた器具を 2 台及び適合のフロアスタンドを 1 台使うだけで，電気代を年間約 50 ドル節約できる。</li> <li>・適合製品は 10,000～20,000 時間の寿命を持つ。これは通常の使用において（例えば，1 日で 3.5 時間），少なくとも 7 年間電球を交換する必要がないということに相当する。</li> <li>・標準的ハロゲンランプの発熱温度は 1,000°F に達するが，エネルギースター適合のランプの発熱温度はそれよりも大幅に低いため，ハロゲンランプよりも安全である。</li> </ul>
	屋外用		

表 3.7 その他機器の対象範囲と定義等（冷水機、変圧器、屋根製品、窓／ガラス張りドア／天窓製品）

機種		対象範囲／定義	備考
冷水機	タンク式冷水機	ユニットの上に配置された取り外し可能な4～5ガロンのプラスチックタンクから水を分配する自立式冷水機。	<ul style="list-style-type: none"> <li>適合製品を用いることにより、電気代を年間47ドル節約できる。</li> </ul>
	タンク式冷水機（冷水のみ）	冷水のみまたは冷水及び常温水を分配するタンク式冷水機。	
	タンク式冷温水機	冷水及び湯を分配するタンク式冷温水機。さらに常温水も分配するものもある。また、冷却サイクルと電気ヒータを持っている。	
	料理／飲料用冷水機	飲料用の冷水及び料理用の常温水を分配するタンク式冷温水機。	
変圧器	変圧器（一般）	ある電圧からエンドユーザーへの送電用電圧に変換する機器。変圧器の変換容量は変圧器中の巻き線の回転の比率によって決定される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>適合製品を使用することにより、電気代を1kWh当たり0.075セント（毎年100～300ドル）節約できる。</li> <li>大規模の商工業用設備は6～10台の低電圧変圧器を持ち、電気代を年間600～3,000ドル節約できる。</li> </ul>
	商工業用低電圧変圧器	低電圧用(1,000V未満)のシステムで作動することを目指した1次コイルと2次コイルを備えた分配変圧器。	
屋根製品	低勾配屋根製品	低勾配屋根の表面に設置される製品。屋根の塗装、ビルトアップルーフ、単層の膜、アスファルト、発泡ポリウレタン等が含まれる。また、一部の製品（単層の膜、屋根塗装等）は急勾配屋根にも使用される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国において、年間約400億ドルの電気代（米国総発電量の6分の1）が建物の空調のために使用される。エネルギースター適合の屋根製品は、建物のエネルギー使用量を最高で50%減少できる。</li> <li>屋根製品は、太陽光を反射させ、表面温度を最高で100°F（約37.8°C）低下させることにより、建物への熱伝達量を減少させる効果をもつ。また、ピーク時の冷房需要を10～15%減少できる。</li> </ul>
	急勾配屋根製品	急勾配屋根の表面に設置される製品。複合屋根板、粘土、コンクリート、ファイバーセメントタイル、スレート、シェイク、建築用断面の金属、金属の屋根部材等がこれに含まれる。	
窓／ガラス張りドア／天窓製品		（記述なし）	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国の全住宅の窓が適合製品に替わると、今後15年でエネルギーコストを1,340億ドル節約できる。</li> <li>窓サッシの素材、ガラスコーティング、ガスの充填に関する新しい技術を用いることにより、適合製品は冷暖房使用料の節約に貢献することができる。</li> <li>エネルギースター適合の窓、ガラス張りドア及び天窓を使用することにより、エネルギー代を最大15%節約できる。</li> </ul>